



タイトル不詳 (アメリカ滞在時代の小作品) 1951年

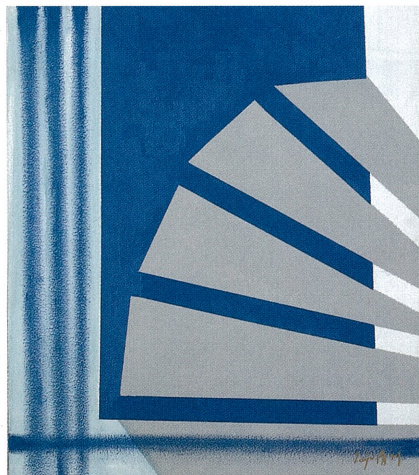
清川泰次

かたちの変遷

2014年4月5日(土) — 7月27日(日)



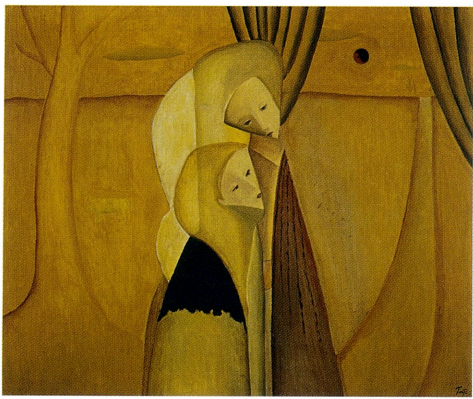
(Painting No.3095) 1995年



開館時間=10:00~18:00 (最終入館は17:30まで)
 休館日=毎週月曜日 (ただし、祝・休日と重なった場合は開館し、翌日休館)
 観覧料=一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円)
 ※障害者の方は100円(80円)。ただし障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者(当該障害者1名につき、1名に限る)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。
 ※()内は20名以上の団体料金。※小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料。
 交通案内=小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分

世田谷美術館分館
清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17
 TEL 03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>



①

清川泰次(1919-2000)は静岡県浜松市に生まれました。実家は、米や味噌などを扱う商店を営んでいました。1936年、清川泰次は上京し、慶應義塾大学経済学部予科に入学します。そして写真部に所属して写真を撮る一方、油絵も描くようになります。清川泰次が本格的に絵の道に進むきっかけになったのは、二科会に所属していた織田廣喜との出会いでした。織田の絵画へ取り組む真摯な姿勢に感動した清川は、画家として真剣に絵の制作に取り組み、1947年、二科展に初入選しました。この頃の清川泰次の作品は、人物や静物などが描かれた具象的なものでした。しかし、戦後、様々な美術表現が台頭してくるなか、清川泰次は従前の具象的表現に対して、疑問を持ち始めるようになります。そして1951年、清川泰次は、当時、抽

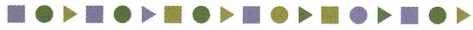
- ①《親子》1951年
- ②《レクサイド-56》1956年
- ③《Painting No.1594》1994年
- ④《裸婦デッサン》1956年
- ⑤《港 55-6》1955-1956年
- ⑥《走る太陽》1959年



②

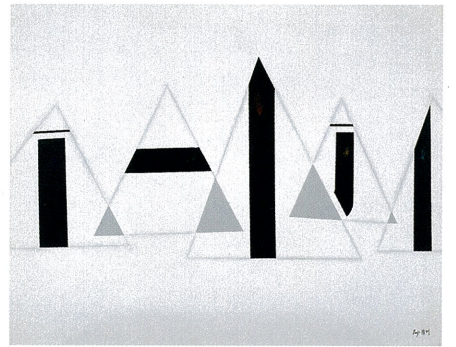
清川泰次

かたちの変遷



象絵画の潮流の中心であったアメリカへ渡り、3年間過ごしたのち帰国し、精力的に実験的な作品の発表を始めます。それらの作品からは、次第に具体的なイメージが消え、彼の創作は抽象的な表現へと変化していきます。そして晩年に向かうにつれ、画面は幾何学的な形体によって構成されていくようになります。

本展では、初期の写実的な表現の作品から、晩年の幾何学的なかたちで構成された作品まで、油彩作品など約15点にデッサンなどを加え、清川泰次のかたちに対する捉え方の変遷をご紹介します。また、小展示室では、清川が大学生時代に撮影した写真も併せてご紹介します。



③



④



⑤



⑥

世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

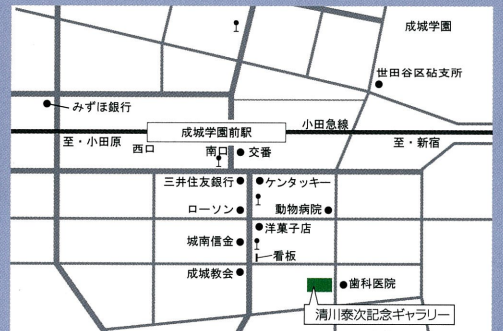
〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17
TEL 03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

交通案内 小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分

世田谷美術館の分館、清川泰次記念ギャラリーは成城の閑静な住宅街にあります。温かみのあるモダンな建築の前には芝生が広がり、四季折々の草花が咲きます。当館は、清川泰次のアトリエ兼住居だった個人宅の一部改装したもので、規模は大きくありませんが、落ち着いた雰囲気でご鑑賞いただけます。

併設された区民ギャラリーは、区民の方々の創作活動の発表の場として、週単位で、様々な展示が開催されています。(展示予定はホームページをご覧ください)

清川泰次の作品を展示している小展示室では、お茶を飲みながらゆっくりと関連図書などをご覧ください。



世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL 03-3415-6011 (代表)
展示会のご案内: TEL 03-5777-8600
(ハローダイヤル)
<http://www.setagayaartmuseum.or.jp/>
※詳細はホームページなどでご確認ください。

同時開催企画展

- 岸田吟香・劉生・麗子 一知られざる精神の系譜
2014年2月8日(土)～4月6日(日)
- 桑原甲子雄の写真-トーキー-スケッチ60年
2014年4月19日(土)～6月8日(日)
- ポストン美術館 華麗なるジャポニスム展 印象派を魅了した日本の美
2014年6月28日(土)～9月15日(月・祝)

同時開催

- ミュージアム コレクション
- 画文往還 世田谷の文人たち
2014年1月25日(土)～4月20日(日)
- 陶芸家・吉田喜彦展
2014年4月29日(火・祝)～6月8日(日)



世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区砧巻2-5-1
TEL 03-5450-9581 <http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

向井潤吉 民家十二カ月

2014年4月5日(土)～7月27日(日)



世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL 03-5483-3836 <http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

開館10周年 宮本三郎の仕事1920's-1930's
修行時代から滞欧期まで

2014年4月5日(土)～7月27日(日)